



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6254 URL <https://www.nomura-nms.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 内田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 西村 司朗 TEL 046-228-5195
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	25,193	39.6	2,861	84.3	2,060	—	1,413	—
2025年3月期中間期	18,042	△50.6	1,552	△72.9	59	△99.0	28	△99.3

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,577百万円 (—%) 2025年3月期中間期 35百万円 (△99.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	37.26	36.61
2025年3月期中間期	0.74	0.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	103,959	36,821	34.9	951.81
2025年3月期	116,783	37,013	31.2	963.39

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 36,232百万円 2025年3月期 36,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	60.00	80.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△37.7	6,200	△59.7	5,184	△61.3	3,837	△62.4	100.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当中間期末の自己株式数をもとに算出した期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	40,608,000株	2025年3月期	40,608,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,540,807株	2025年3月期	2,744,939株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	37,930,060株	2025年3月期中間期	37,585,772株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月17日(月)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配付する資料については、同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国における貿易政策が一部で一定の合意に至ったことにより貿易摩擦に段階的に適応しつつあるものの、地政学リスクの高まりや中国経済の低迷長期化など、依然として不安定な状況が続いております。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界においては、生成AIやクラウドインフラ向け需要の増加を背景に、メモリー及びロジック製品の投資が拡大し、設備投資が堅調に推移しました。SEMI (Semiconductor Equipment and Materials International) は、2025年第2四半期の世界半導体製造装置販売額が前年同期比24.0%増の330億米ドルに達したと発表しました。

このような状況下、当社グループは企業価値の拡大を目指し、2023年11月に策定した中期経営計画『Together Toward Transformation 26 (TTT-26)』の達成に向け、①収益性の向上、②資本効率化、③財務最適化、株主還元、④社会的価値創出に注力し、半導体・製薬業界へのアプローチ強化やエンジニアリングプロセスの改革を実行し、生産性・収益性の向上を図るとともに、サステナビリティ経営の実現に向けて各種施策に取り組んでまいりました。

この結果、受注高は15,538百万円(前年同期比19.8%増)、売上高は25,193百万円(同39.6%増)、営業利益は2,861百万円(同84.3%増)、経常利益は2,060百万円(前年同期は59百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,413百万円(前年同期は28百万円の親会社株主に帰属する中間純利益)となりました。

(受注高)

当社グループの主要顧客である半導体関連企業の設備投資は引き続き旺盛であり、地域差はあるものの順調に受注を獲得したことから、受注高は15,538百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

(売上高)

水処理装置については、日本及び米国の受注済み大型水処理装置の工事が順調に進捗したこと等により、売上高は17,397百万円(同67.3%増)となりました。また、メンテナンス及び消耗品についても、半導体関連企業を中心に受注が堅調に推移し、売上高は7,381百万円(同16.7%増)となりました。一方、その他の事業については、大型半導体製造装置向け配管材料の売上が一巡したこと等により、売上高は414百万円(同68.6%減)となりました。

(利益)

利益面については、日本及び米国の大型水処理装置をはじめ、各地域の工事が順調に進捗し増収となったこと等により、営業利益以下の各段階利益で前年同期を上回りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

受注済み国内大型水処理装置の工事が順調に進捗したことにより、売上高は14,509百万円(前年同期比62.1%増)、営業利益1,800百万円(同433.1%増)となり増収増益となりました。

② 韓国

前期末までに受注した大型水処理装置が順調に進捗したこと等により、売上高は2,084百万円(同31.0%増)となりました。一方、原価とともに販売費及び一般管理費の増加により営業利益は88百万円(同48.8%減)となりました。

③ 中国

大型水処理装置の工事が一巡したこと等により、売上高は2,734百万円(同32.1%減)、営業損失は98百万円(前年同期は374百万円の営業利益)となりました。

④ 台湾

大型水処理装置の工事が一巡したこと等により、売上高は1,273百万円(前年同期比32.7%減)、営業利益は433百万円(同25.6%減)となりました。

⑤ 米国

受注済み大型水処理装置の工事が順調に進捗したことにより、売上高は4,585百万円(同189.9%増)、営業利益は650百万円(同670.0%増)と大幅な増収増益となりました。

⑥ その他

前連結会計年度において、中期経営計画「TTT-26」の実現に向けた営業戦略の一環として、半導体製造拠点の分散化への対応を目的に、野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd. を設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、新たな報告セグメントとして「その他」を追加しております。当中間連結会計期間より営業を開始し、メンテナンス及び消耗品の受注により、売上高は6百万円となりましたが、設立費用等を吸収しきれず、営業損失は13百万円となりました。

なお、前連結会計年度において、野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd. は営業活動を開始していないため、売上高及び営業損益の計上はありません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて12,824百万円減少し、103,959百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少12,611百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて12,631百万円減少し、67,137百万円となりました。これは主に、契約負債の減少4,999百万円、支払手形及び買掛金の減少3,834百万円、短期借入金の減少3,723百万円等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて192百万円減少し、36,821百万円となりました。これは主に、資本剰余金の増加425百万円となった一方で、利益剰余金の減少858百万円となったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ1,450百万円減少し、15,089百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、5,455百万円(前年同期は13,174百万円の使用)となりました。これは主に、売上債権の減少額が14,093百万円となった一方で、契約負債の減少額が4,967百万円、仕入債務の減少額が3,793百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,183百万円(前年同期は2,401百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が554百万円、有形固定資産の取得による支出が506百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6,260百万円(前年同期は12,843百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が5,719百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,330,150	16,434,486
受取手形、売掛金及び契約資産	82,339,287	69,727,469
電子記録債権	2,534,590	1,317,901
商品及び製品	552,990	369,635
仕掛品	2,009,656	3,065,527
原材料及び貯蔵品	1,159,077	1,044,859
その他	3,470,440	2,931,455
貸倒引当金	△405,851	△368,322
流動資産合計	108,990,341	94,523,012
固定資産		
有形固定資産	4,957,867	6,140,092
無形固定資産	119,477	100,543
投資その他の資産	2,715,454	3,195,460
固定資産合計	7,792,798	9,436,096
資産合計	116,783,140	103,959,108
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,251,132	5,417,112
短期借入金	52,158,200	48,435,200
未払金	924,386	1,468,714
未払法人税等	3,843,103	2,807,132
契約負債	9,330,148	4,330,646
製品保証引当金	241,844	363,728
賞与引当金	598,072	730,604
役員賞与引当金	20,827	41,808
資産除去債務	30,106	44,714
その他	2,496,807	1,227,581
流動負債合計	78,894,628	64,867,243
固定負債		
リース債務	497,703	1,700,835
退職給付に係る負債	10,121	10,367
役員退職慰労引当金	222,226	228,445
その他	144,525	331,067
固定負債合計	874,575	2,270,715
負債合計	79,769,204	67,137,959

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	3,286,603	3,711,764
利益剰余金	29,736,483	28,878,139
自己株式	△330,121	△305,553
株主資本合計	34,929,766	34,521,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,594	471,404
繰延ヘッジ損益	—	29
為替換算調整勘定	1,173,591	1,240,119
その他の包括利益累計額合計	1,547,185	1,711,553
新株予約権	536,984	588,446
純資産合計	37,013,936	36,821,149
負債純資産合計	116,783,140	103,959,108

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	18,042,814	25,193,265
売上原価	13,720,737	19,457,376
売上総利益	4,322,076	5,735,888
販売費及び一般管理費	2,769,491	2,874,887
営業利益	1,552,585	2,861,001
営業外収益		
受取利息	26,139	69,049
受取配当金	16,901	17,983
受取家賃	14,401	15,432
為替差益	—	171,485
その他	3,831	58,491
営業外収益合計	61,274	332,443
営業外費用		
支払利息	742,319	1,121,289
為替差損	796,580	—
その他	15,172	11,468
営業外費用合計	1,554,073	1,132,758
経常利益	59,787	2,060,687
特別利益		
投資有価証券売却益	—	17,100
特別利益合計	—	17,100
特別損失		
固定資産除却損	25	0
特別損失合計	25	0
税金等調整前中間純利益	59,761	2,077,787
法人税等	31,644	664,347
中間純利益	28,117	1,413,439
親会社株主に帰属する中間純利益	28,117	1,413,439

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	28,117	1,413,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,566	97,810
繰延ヘッジ損益	△821	29
為替換算調整勘定	6,697	66,528
その他の包括利益合計	7,442	164,367
中間包括利益	35,559	1,577,806
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	35,559	1,577,806

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	59,761	2,077,787
減価償却費	511,037	940,491
株式報酬費用	204,079	189,033
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,058	△37,712
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,978	131,549
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	8,215	20,981
製品保証引当金の増減額(△は減少)	64,318	123,739
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△2,517	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,858	788
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,873	6,218
受取利息及び受取配当金	△43,041	△87,033
支払利息	742,319	1,121,289
為替差損益(△は益)	2,325	621
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△17,100
固定資産除却損	25	0
売上債権の増減額(△は増加)	5,981,899	14,093,238
棚卸資産の増減額(△は増加)	△22,560,577	△1,191,636
前渡金の増減額(△は増加)	△1,195,856	494,958
その他の資産の増減額(△は増加)	745,415	△460,568
仕入債務の増減額(△は減少)	1,108,977	△3,793,020
未払消費税等の増減額(△は減少)	△166,978	2,073
契約負債の増減額(△は減少)	3,323,575	△4,967,289
その他の負債の増減額(△は減少)	234,137	△63,302
小計	△10,925,230	8,585,106
利息及び配当金の受取額	34,790	75,502
利息の支払額	△981,789	△1,647,837
法人税等の支払額	△1,301,857	△1,556,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,174,088	5,455,816

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,800,798	△506,414
ソフトウェアの取得による支出	△6,894	△7,244
投資有価証券の取得による支出	△0	△106,300
投資有価証券の売却による収入	—	28,402
定期預金の預入による支出	△547,000	△554,500
敷金及び保証金の差入による支出	△71,876	△129,293
敷金及び保証金の回収による収入	41,282	87,334
貸付けによる支出	△5,527	△11,039
その他	△11,085	15,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,401,901	△1,183,205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,659,150	2,000,000
短期借入金の返済による支出	—	△5,719,950
リース債務の返済による支出	△155,438	△308,856
自己株式の処分による収入	119,293	193,289
自己株式の取得による支出	△44	—
配当金の支払額	△1,779,441	△2,424,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,843,518	△6,260,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,725,659	537,436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,006,811	△1,450,164
現金及び現金同等物の期首残高	11,859,827	16,539,650
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,853,015	15,089,486

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	韓国	中国	台湾	米国	その他	計
売上高							
外部顧客への売上高	8,951,996	1,591,257	4,025,258	1,892,597	1,581,704	—	18,042,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,351,559	362,598	39,255	—	25,213	—	1,778,627
計	10,303,555	1,953,856	4,064,513	1,892,597	1,606,917	—	19,821,441
セグメント利益	337,750	172,679	374,434	583,248	84,471	—	1,552,585

	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高		
外部顧客への売上高	—	18,042,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△1,778,627	—
計	△1,778,627	18,042,814
セグメント利益	—	1,552,585

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	韓国	中国	台湾	米国	その他	計
売上高							
外部顧客への売上高	14,509,169	2,084,034	2,734,038	1,273,368	4,585,833	6,820	25,193,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,452,925	231,778	2,155	938	1,751	10,259	1,699,808
計	15,962,094	2,315,813	2,736,194	1,274,306	4,587,585	17,080	26,893,074
セグメント利益又は 損失(△)	1,800,582	88,355	△98,419	433,856	650,467	△13,841	2,861,001

	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高		
外部顧客への売上高	—	25,193,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△1,699,808	—
計	△1,699,808	25,193,265
セグメント利益又は 損失(△)	—	2,861,001

(注) セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、シンガポールに野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd. を新たに設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、新たな報告セグメントとして「その他」を追加しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。